

令和6年度 第1回帯広市緑化審議会 議事録（概要）

- 1 日 時 令和6年6月5日（水）14：00～15：30
- 2 場 所 帯広の森・はぐくむ
- 3 出席委員 橋本委員長、天内委員、小原委員、鎌田委員、嶋宮委員、葛井委員、新津委員
合歓垣委員、廣瀬委員、藤平委員、三日市委員、森委員 12名
（欠席：清水委員、中田委員、三品委員 3名）
- 4 事務局 篠原部長、高橋参事、広沢土木室長、岡田環境室長、鈴木道路維持課長、
黒野みどりの課長、大橋みどりの課長補佐、吉澤公園係長、
上川原みどりと花の係長、面谷主任、中谷主任補、上野主任補、林係員

5 議 事

（1）報告事項

- ・帯広市の緑化に関する取組みについて
- ・帯広の森について
- ・緑ヶ丘公園エリアの魅力向上に向けた検討について

6 議事概要

（1）報告事項

- ・「帯広市の緑化に関する取組みについて」
- ・「帯広の森について」

（事務局から内容説明）

委 員：緑ヶ丘公園の十勝池に関する記事を新聞等で拝見したが、令和6年度の予算での対策について伺いたい。併せて、これまでモニタリングをしているのか。

事務局：令和2年度から微生物資材の投入を行い、アオコの発生抑制に向けた対策を行っている。今年度についても引き続き微生物資材の投入による抑制対策を考えている。モニタリングは、透明度などを確認しており、水質の状態は現状維持の状態が続いている。指定管理者においても調査を進めており、それを踏まえながら考えていきたい。

委 員：今年は、貸しボートを再開している。利用者が楽しいと思ってもらえるよう対策をお願いしたい。

委 員：街路樹について、中古車販売の会社が街路樹を枯らしてしまったという騒動があったが、近

所の方からうちの前の街路樹が植えた後枯れてしまって、その後、木が植えられていないと聞いた。帯広の街中で街路樹が枯れてるところをいくつか見かけるが、説明では大きくなった木を剪定するとか、古くなった木を切るとあったが、工事後、枯れてしまったり、枯れたまま立っている木を結構見かけるが、それを植え替えるとか再整備をしているのか。

事務局：街路樹は、市内に 2 万 8000 本程あり、市民からの苦情などの対応として剪定や伐採を行っているが、樹木を伐採した後の更新は行えていない。

委員：公園の中の利用でキッチンカーなどの利用が増えているが、帯広市としてはもっと受け入れて増やしていこうという考えなのか。

事務局：キッチンカーに関する行為許可は、令和 5 年度は 23 件と前年比で大幅に増えている状況である。今後は、帯広市としても、公園のスペースで賑わいをつくることを意図しており、キッチンカーの利用についても、公園の利用者の妨げにならないよう、バランスを取りながらできる範囲で賑わいに繋げていきたいと考えている。

委員：帯広の森 50 周年記念事業について説明があったが、街の中でもあまり見かけることがないので、周知活動に力を入れてほしい。

・緑ヶ丘公園エリアの魅力向上に向けた検討について

（事務局から内容説明）

委員：挿入された図は、意図的に北が下なのか。

事務局：帯広の森のみどりの大きさを示したもので、それ以上に意味はない。

委員：帯広の森が 50 年を迎える中で、今後の帯広の森づくりとともに、緑ヶ丘公園と少年院跡地をみどりのネットワークとしてとらえ、街づくりをどういう形で進めていくか考える必要がある。単に都市公園という緑ヶ丘公園と帯広の森という捉え方ではなく、帯広の森が哲学、歴史ある中、歴代市長がどういう思いで帯広の森、帯広の街を作ってきたかも含めて、都市政策を進めていただきたい。

委員：少年院跡地の計画は、帯広市が管理、所有を取得するのか、それとも民間に任せるのか分からないが、例えば民間に委託した場合よくある地区協定を設けて緑を確保するとか、その様なことが出来るものなのか。

事務局：資料に記載している国の未利用国有地の取り扱い等の考え方では、管理処分の方方向性として
4つの選択肢が示されており、二段階一般競争入札や地区計画を定めるなどの可能性はある。